

※本コメントは、複数の部門に対して総括して書かれたものであり、特定の部門に対して書かれたものではありません

今回のショパン国際ピアノコンクール in ASIA でもたくさんの素晴らしい演奏を聴くことができました。これらの、時に非常に難しいプログラムを準備するために、若いピアニストのみなさんがたくさんの時間とエネルギーと才能を費やして努力されたことがよく伝わってきました。このような高度な芸術に心を注ぐ原動力となるものは、音楽への愛に違いありません。みなさんがこれから更に成長され、この芸術において更なる高みを追求される上で、そのような気持ちをずっと忘れずに持ち続けられるよう、心から願っています。

※本コメントは、複数の部門に対して総括して書かれたものであり、特定の部門に対して書かれたものではありません

みなさん、ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会へのご参加おめでとうございます！世界中で大きな影響を引き起こしているコロナ禍という大変困難な状況下においても、今年もみなさんのしっかりと準備された素晴らしい演奏を聴かせて頂けたことをとても嬉しく思います。みなさんの才能と努力、それからこのような状況にも関わらずご尽力された先生方に心からの拍手を送りたいと思います。私からのメッセージと致しまして、いくつか気づいたことをお伝えしたいと思います。まず初めに、どんなコンクールであっても参加する際に覚えておかなければならないのは、コンクールそのものが目的になってはいけない、ということです。コンクールというのは、あくまで自分とは違った視点や意見をもつ人たちと出会い、自分の考えや解釈を他者と共有し、時に自身を鼓舞したり自分の技量をチェックする方法でしかありません。真の目的は音楽や芸術、そして自身の成長でなければなりません。さまざまな経験を通して、自らの感受性や感情をより豊かにし、音楽への理解を深めましょう。レパートリーに関しては、適切に賢く選び、自分にとって良い選択をすることが必要不可欠です。常に難曲に挑戦することが良いことだとは限りません。ピアノ演奏全般にいえることですが、特にショパンを演奏する際には、下記のようなことに注意してみてください。

- ・自然な歌い方で、音楽が語りかけるように。旋律が横へ繋がっていくとイメージし、音楽的で自然な「呼吸」を意識すること。
- ・長いフレーズを作り出し、全てのモチーフやフレーズを形作ること。また同時に、まとまりとしての一体感も感じる。
- ・美しく、歌うように、多彩でよく響く気品のある音（レガートやベルカント唱法をイメージして）。
- ・形式、和声、音楽的なジェスチャー（音や声部の流れ・動きなど）など、音楽の構造を意識すること。
- ・作品の歴史や作品にまつわる秘話などについてリサーチするとともに、自分自身が聴衆と共有したいアイデアについても考えを深めること。
- ・曲の性格や特定のジャンルの作品の由来などを知ること。（特に踊りにおいては、その踊りが民族音楽なのか、宮廷舞踏なのか、あるいは国民的な音楽に基づくものなのかを理解することはとても重要です）。
- ・よいバランス（声部と声部のバランス、全体的な構成における様々な層のバランス、和声の中の音と音のバランスなど）。
- ・演奏の助けとなるような、よいペダルの使い方を工夫すること。また、ペダルの様々な使い方を研究すること。（良いペダルの使い方というのは、使用する楽器、その場所の音響、その瞬間に音楽に必要とされているものによります。）
- ・背中、肩、腕、前腕など体の一部または全部に余計な緊張感が入らないように。
- ・自分がやりたいことが実際に音として聞こえているかどうか、客観的に聴いてみる。
- ・ピアノを演奏している最中、自分も傑作の創造の過程に関わっているんだという喜びを感じる。

みなさんの益々のご発展をお祈り申し上げます。

みなさんお疲れ様でした！この部門は技術的なレベルは非常に高かったです。

- ・テクニックの正しい使い方：技巧的な部分は、練習曲のように弾いてはいけません。最も重要なことは常に音楽と解釈です。
- ・ショパンの音楽におけるテンポルパートは、ピアニストが何年もかけて習得しなければならない難しい技術です。しかし、これが何を意味するかを理解し、演奏しているときに用いなければなりません。
- ・伴奏パート（セコンド）にも大変重要な役割があります。伴奏者は、ソリストが美しく奏でられるよう手助けしなければなりません。

難しい協奏曲ですが、とても丁寧な曲へのアプローチが感じられました。

一生懸命難曲にチャレンジされ、素晴らしいと思います。どうしても技術的に難しいので、弾く事に必死になり、なかなか語るのは難しいです。よりハーモニーの音の変化、転調等からショパンのデリケートな心情を読み取って音（色）をつくれるといいかなと思いました。少しかたさを感じました。

2人共に非常に音楽的であり、テクニックが安定しているだけでなく、タッチの美しさも光彩を放っていました。アマチュアとは思えない演奏であり、その価値ある才能を大切にはぐくんで下さい。

コンチェルトを表現するにふさわしい技量を感じました。アンサンブルの能力も優れ、十分に楽しめる内容でした。